

東青

# みどりの通信

NO. 90

平成22年  
1月12日



東青地域県民局地域農林水産部

■ 普及指導室 ■

〒030-0801

青森市新町二丁目4-30 (tel 017-734-9965, fax 734-8305)

電子メール hi-nosui@pref.aomori.lg.jp



## ~青森から新しいそば文化の発信~

平成21年11月10日に青森市のアスパムで「あおり海道そばフォーラム2009」が開催されました。

まず、東青県民局の秋庭武司農林水産部長から「あおり海道そばの活性化を皆で進めよう」とのあいさつがありました。続いて事例報告では、東通村「田や」の嶋田涼子さんから、十割手打ちそばにこだわっていること、当初4人でそば店を開店、1年後には単独経営になり、現在はパートにそばの打ち方や仕込みを教え、本人不在でも運営できていること、昨年の来客数は1万人を超えたこと、メニューも地元の野菜や山菜を使っていること、「そばけいらん“鶏喰のこっこ”」の商標登録を取得していることなど活発な起業活動を行っていることが報告されました。

昼食は、あおり海道そば定食として、夏井田そば研究会の手打ちそば、ホタテ炊き込みご飯、漬物がセットで提供され、出席者から美味

しいと好評でした。

午後からは、「南部・津軽のそば振興に向けて」と題してパネルディスカッションが行われ、八戸市南郷区役所古館和義農林建設課長と、南郷そば生産組合の冷水賢悦副組合長から、階上早生にこだわった栽培や、観光資源としての活用のお話がありました。

青森市の羽白開発の福士理事からは緑肥を使ったそば栽培、夏井田そば研究会の溝江繁子会長や蓬田村そば打ち研究会の桶田武会長からは、地元産のそばを活用した生産振興として、そばの販売や手打ちそば教室のお話がありました。

まとめとして、アップルヒルの佐藤二彦副社長から、こだわりそばには、ストーリー性が大切であるとの助言がありました。

あおり海道そばのブランド化に向け関係者が一丸となって積極的な取組を行っていくことを確認した一日でした。



# 祝！「意欲溢れる攻めの農林水産業奨励賞」受賞

## ★ バサラコーン生産グループ（青森市）★

「意欲溢れる攻めの農林水産業賞」とは、創意工夫により収益性アップなど積極的に農業振興等に取り組んでいる優良事例を青森県知事が表彰するものです。

今年度東青管内からは、なみおかバサラコーンの生産グループの取組が評価され奨励賞を受賞しました。

バサラコーンは、青森市浪岡地区で平成16年から本格的に生産が始まり、18年にはブランド化を進めるため市民に名前を公募し「バサラコーン」と命名しました。19年は異常気象等により大きな打撃を受けましたが、20年からは、生産から流通まで関係者が一体となって産地強化を進めています。

バサラコーンは、7月下旬～9月上旬まで青森市内のスーパーを中心に販売され、消費者から「地元こんな美味しいスイートコーンがあったのか。また買いたい。」などの嬉しい声

が聞かれています。

今回の受賞にあたっては、「良食味で高品質な生産と、地産地消を進めるため地元での消費宣伝活動に取組み、東青の新たな品目の産地化と収益性の高い農業の実現に尽力している点」が評価されました。

今後も、より一層の躍進が期待されます。がんばれバサラコーン!!



▲ 授賞式の様子

## おらほの<sup>わけもの</sup>若人（トッフランナー）紹介！



### 青森市浪岡 高橋和幸さん

結婚を機に鹿児島県からやってきて、奥さんの実家でトマト栽培を夫婦で協力しながら取り組み始めた<sup>わけもの</sup>若人です。

ハウス10棟(750坪)で夏場に特別栽培のトマト(減農薬・減化学肥料栽培)、冬場にホウレンソウを栽培しています。今年度から県の将来を担う農業者(トッフランナー)として、トマトジュースの加工やインターネット販売等、新しい取り組みに日々頑張っています。

「トマト作りを始めて、5年経ちました。毎年失敗がありながらも頑張ってます。初めてトマトジュースの加工やインターネット販売等に挑戦し、農業の幅広さを改めて感じ面白いと思いました。これからも安全安心をモットーに消費者の声を聞ける生産者になれるようにがんば

ります」と語ってくれました。

これから就農する人へのアドバイスとして「農業は苦労が多いけど、とにかくやりがいのある仕事。頑張ってください」と話してくれました。東青の<sup>わけもの</sup>若人ががんばってます。



▲ 新作のトマトジュース！「美味しいですよ」



## 出合いを求めて！

# 「旬の野菜を味わう集い」を開催しました

東青地区青年農業士会

去る8月22日、東青地区青年農業士会が若手女性との交流会を開催しました。

近年、農業青年に限らず、独身の男女が増えてきており、結婚したくても出合いの場がないのが実情です。

そこで、当地区の農業青年が一念発起し、婚活を企画したというわけです。タイトルをどのようにしようかと悩んだ末、「旬の野菜を味わう集い」と穏やかな名称としました。

当日は、農業青年10名、若手女性8名が参加しました。若手女性の参加が心配されましたが、お互い知人・友人を誘い合ってほぼねらいどおりの人数となりました。

最初、なごやかな雰囲気をつくるため、羽白開発の「すこやか農場」で無農薬栽培されたスイートコーンやきゅうり等の収穫体験を実施しました。お互いぎこちなさがあったものの次第にうち解け、スイートコーンの見分け方など恥ずかしそうにしながらも優しく教えていました。

その後、農業青年自らが取り組んでいる切り花や夏秋トマトの収穫体験などを通じ、女

性達も次第に農業への理解を深めたようでした。

さらに、場所を移し農業青年が持ち寄った米や肉・野菜などを材料にプロのシェフが腕を奮った創作料理を皆で味わいながら活発に意見交換し合い、あっという間に時間が過ぎ閉会となりました。

若手女性達からは「スイートコーンやトマトなど沢山いただいて楽しかった。」という人や「農業青年は無口で暗いというイメージでしたが、明るく快活で楽しかった。」などの意見が寄せられました。

農業青年達も、「普段若い女性と話し合う機会がなかった。これからは、もっと積極的にならなければ！」「このような活動を今後も続けて行きたい。」と張り切っており、お互い有意義なひとときを過ごしたようでした。

《後日談として、この「集い」をきっかけに付き合い始めているカップルが2組ほどいるとの情報を得ています。嬉しい便りが届くことを願っています。》



▲ 新鮮なスイートコーンを生で試食！



▲ カーネーションの収穫体験



# 新たな産地直売施設「ウエル蟹」

昨年、9月19日にJR津軽線の蟹田駅前に産地直売施設「ウエル蟹（かに）」がオープンしました。しゃれたネーミングですが、これは公募されたもので、「ようこそ（Welcome）外ヶ浜町蟹田へ（蟹）」からきており、歓迎の気持ちが込められています。

蟹田駅前広場物産施設運営協議会（津島正一会長）が運営し、店内は「鮮魚（魚介類）」と「青果（野菜・果物・花き）」、「精肉（青森シャモロックなど地場産肉）」などの各コーナーに分かれています。加工品コーナーでは、アピオスなど地元特産物の加工品の他、お餅や漬物、惣菜、お

菓子、味噌、完熟トマト入り焼肉のタレ、トマトケチャップなど、東青農水産物加工協議会の会員が手作りした商品が販売されています。また、飲食コーナーでは、各種定食などの食事ができ、コーヒーやジュースも用意されています。

ウエル蟹の開設により、以前にも増して駅前の人の往来が活発になっており、地域の文化・経済・交流の場（コミュニティー施設）として期待されています。

営業時間は、午前7時から午後7時15分まで、毎週水曜日が定休日となっています。

是非一度お出かけください。



▲ オープン初日、大勢の人が詰めかけました



▲ 加工品も売れ筋です！

東青ならではの、こだわりの味がアスパム1階イベントホールに大集合!!

## 第15回 元気なかつちゃの「味自慢・うで自慢」を開催します!

**とき** 平成22年1月16日(土)～17日(日)10時～15時 **ところ** アスパム 1階イベントホール

### ① かつちゃの店 (10時～15時)

こだわりの加工品、農産物販売!

### ② 東青の特産品を活用した 新商品コーナー (11時～14時)

新作のお菓子、お総菜の試食

### ④ 東青の元気な農村体験コーナー

(10時～15時 ※A～Cは、10時～13時に体験ができます。)

- ★A：懐かしい遊びコーナー（お手玉、あやとり、ずぐり回し）
- ★B：わら工芸（こも編み、縄編み）
- ★C：里山リース・押し花しおり
- ★D：農村の食事展示（日常・行事の食事、展示のみとなります）

### ③ お楽しみ! 東青の味をプレゼント!!

※プレゼントが無くなり次第終了させていただきます。

☆先着100名様プレゼント (10時～)

☆お買い上げのお客様、

ジャンケンdeプレゼント! (14時～)

